

保護者等からの事業所評価の集計結果

○環境・体制整備

利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	はい	法令に沿った広さを備えている。その中でも、動線やスペースの確保の為、什器の配置などを工夫している。 前回のアンケートの中に、療育室が適切な広さであるかわからないとの回答があったため、今回は子育てサポートの制度を使って見学できることをお手紙や契約時のお話で周知した。
職員の配置数は適切であるか	はい	利用人数に合わせた基準人員の他に、児童指導員等加配加算や専門的支援体制加算に該当する職員も配置しており、職員数は十分に満たしている。
事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	はい	車椅子をお使いの方や低学年の利用者様でもおやつを選びやすいよう、高さ調節が出来るワゴンを設置した。 職員アンケートでは手すりの設置や入口の広さなどについて意見があり、検討中である。

○業務改善

業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	はい	毎日のミーティングで前日の振り返りを行い、PDCAサイクルに基づいた問題解決と業務改善に努めている。 意見を自由に言い合える職場環境作りに留意している。
保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	はい	定期的に行っている。
この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	はい	これまで通り法令に従い行っていく。結果の公開はLITALICO発達ナビ発達障害ポータルサイト上で行っている。
職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	はい	義務である研修の年間計画を作成し、必要な研修を行っている。 それ以外に毎日の朝礼ではミニ研修を行い、職員のスキルアップに繋げている。

○適切な支援の提供

<p>アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか</p>	<p>はい</p>	<p>前回同様97%と高い評価を頂いている。支援に於いて重要な部分であり、特に力を入れている。今後もこの評価を維持できるよう努めていく。</p>
<p>子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか</p>	<p>はい</p>	<p>アセスメントシートを新たに作り、成長を分かりやすく記録できるようになった。内容や使用のタイミングについては、使いながら改善していく。</p>
<p>活動プログラムの立案をチームで行っているか</p>	<p>はい</p>	<p>プログラムの担当者は事前に他職員に相談しながら準備や計画を進め、ミーティングで共有する。ミーティングでは当日の利用者様の発達段階や特性に合った内容になっているかや留意事項などについて意見を出し合い、職員全員でプログラムを作っている。</p>
<p>活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか</p>	<p>はい</p>	<p>内容が偏らないよう、職員全員が交代しながら担当している。屋外での活動・パン作り・工作・レクリエーションなど、活動が偏らないよう季節や参加人数に合わせて工夫している。</p>
<p>平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか</p>	<p>はい</p>	<p>学校のある日は、利用時間が短いので無理のない療育プログラムを計画している。比較的時間が取れる休日、長期休暇は屋外での活動やクッキングなどを行い、コミュニケーション能力の向上や食育に繋げている。</p>
<p>子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか</p>	<p>はい</p>	<p>個々の特性に合わせ、マンツーマンの個別療育、全員で行う集団療育、小集団で行う専門的支援（あおぞらタイム）を組み合わせている。それぞれどのような目的を持って支援を行うかについても計画に記載している。</p>

<p>支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか</p>	<p>はい</p>	<p>毎日朝にミーティングを行っている。送迎計画のダブルチェックや読み合わせ、申し送り内容等の情報共有、当日行う利用者様の支援における留意点について確認共有している。 集団活動や避難訓練などがある場合は、その中での役割分担についても確認している。</p>
<p>支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか</p>	<p>はい</p>	<p>当日支援終了後や次の日の朝のミーティングで利用者様について情報共有する機会を持っている。常日頃から職員間でコミュニケーションの機会を多く持ち、共有を図っている。 当日休みの職員にも情報共有出来るよう、申し送り事項を記録して共有している。</p>
<p>日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか</p>	<p>はい</p>	<p>利用者様には連絡帳でその日の支援内容についての情報をお伝えしている。事業所においては利用者様の個人記録を当日中に記している。 その中の懸案事項は担当者会議や日々のミーティングで共有し対策や療育内容の変更等につなげている。</p>
<p>定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか</p>	<p>はい</p>	<p>保護者様と個別支援計画についてのモニタリングを半年以内に一度行っている。 まだ達成できていない目標については、目標や療育内容の検討を行い修正をしている。修正内容をミーティングで共有している。 達成できた場合は新しい課題を探り、療育計画を立て直し、継続した支援を行っている。</p>
<p>ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか</p>	<p>はい</p>	<p>一人一人に合わせ、基本活動を複数組み合わせ合わせた活動や支援を行っている。 特に創作活動は、季節や行事に合わせて行っている。 個別療育や集団療育以外には、余暇の提供をし、リラックスできる空間づくりに努めている。</p>

○関係機関や保護者との連携

<p>障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか</p>	<p>はい</p>	<p>相談支援事業所様のご提案に応じて、保護者様、学校関係者様を交えた担当者会議に参加し、連携に努めている。 学校や家庭での利用者様の様子を共有し療育に役立てている。基本的に児発管が参加するが、状況に応じて他職員も参加する。</p>
<p>学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか</p>	<p>はい</p>	<p>保護者様を通して学校情報を頂いている。 初めて学校にお迎えに行く際には、学校と連絡を取り、引き渡しについての確認を行う。 学童の先生方には、送迎担当職員の名簿をお渡しし、確実な受け渡しが出来るよう努めている。 また学校へのお迎え時には申し送りをして頂いたり、関係機関連携加算の制度を利用するなどして、事業所・学校・保護者様で情報共有や問題解決を行っている。</p>
<p>児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか</p>	<p>はい</p>	<p>事業所だけでは解決できない問題が生じた際には、相談支援事業所をはじめ、市の相談センターなどに相談し、解決のための助言や支援をいただいている。</p>
<p>日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか</p>	<p>はい</p>	<p>その日の様子や気になる行動についての情報共有を、連絡帳や申し送りなどを通して日頃から行っている。アンケートでは満足度94%の評価を頂いた。必要に応じて面談も行っている。</p>
<p>保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか</p>	<p>いいえ</p>	<p>面談やお電話などで相談に応じてはいるが、特別にペアレントトレーニングの機会を持つことはできていない。 市などからの情報を保護者の方へ提供していく考えである。</p>

○保護者への説明責任等

<p>運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか</p>	<p>はい</p>	<p>必ず契約時に詳細に説明を行っている。その後も問い合わせなどがあれば随時お答えしている。</p>
<p>保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか</p>	<p>はい</p>	<p>電話や面談で随時相談を受け付けており、必要に応じて関係機関に繋ぐなどの支援も行っている。アンケートでの満足度も前回84%であったのに対し、94%と大幅に上がっている。</p>
<p>子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか</p>	<p>はい</p>	<p>苦情があった場合には速やかに職員間で情報共有を行い、原因の解明・改善・報告・記録までを行うようにしている。</p>
<p>定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか</p>	<p>いいえ</p>	<p>見学者様から「どんなことをしているのか知りたい」とのご意見を頂くことがある。利用者様一人一人には、行なった療育内容の記録をお渡ししているが、日々の療育に尽力するあまり、外部の方に対して情報発信が十分でなかった。今後は月ごとの交代制で担当を決め、生活や行事の様子などを発信していく予定である。</p>
<p>個人情報に十分注意しているか</p>	<p>はい</p>	<p>個人情報の分かる書類や携帯電話を鍵付きの書庫に保管している。また、掲示物やブログへの記録写真の掲載に於いて、個人が特定できないよう配慮している。外部から見学者が来られた際には、利用者様の名前の表記をひらがなのファーストネームにしたりカルテを布で覆う等して、個人名が出ないように配慮している。</p>
<p>障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか</p>	<p>はい</p>	<p>発話が苦手な利用者様や、視覚優位な利用者様とのコミュニケーションの際には絵カード等の視覚的素材を用いている。保護者様とお話では、齟齬を防ぐために出来るだけ対面で行うことを心掛けている。個々に合わせた連絡ツールを使い連絡を取りやすいよう工夫している。</p>

○非常時等の対応

<p>緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか</p>	<p>どちらとも いえない</p>	<p>策定し、研修の機会に職員間で共有している。利用者様へのマニュアルの周知は行っていないが、避難場所や非常時の対応についてはお伝えしている。</p>
<p>非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか</p>	<p>はい</p>	<p>風水害や地震を想定した訓練を年2回以上行っている。</p>
<p>虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか</p>	<p>はい</p>	<p>虐待防止委員会を設置している。虐待に関する研修も行い、日頃から虐待に対する理解を深める努力をしている。</p>
<p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか</p>	<p>はい</p>	<p>予め身体拘束が必要と思われる利用者様には、個別支援計画書に記載し同意を頂いている。身体拘束を行った際には迅速に報告し、拘束時間、理由、その後の対応等の記録を行っている。記録は事業所内で共有し、再発防止に努めている。</p>
<p>食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか</p>	<p>はい</p>	<p>保護者様より、診断結果を教えていただいている。アレルギー情報はリスト化し、職員が確認できるよう事務所とキッチンに掲示している。定期的アレルギー情報の更新や再確認を行っている。新しいおやつを提供する際には職員ミーティングで成分の確認を行っている。</p>
<p>ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか</p>	<p>はい</p>	<p>ヒヤリハットがあった場合には、記録を取るとともにミーティングで情報共有し、事故に繋がらないようにする為の対策を講じている。</p>